

まなびあんだより 令和6年初春号 小学生版

さいきん、「紫式部」という名前を見たり聞いたりしませんか？図書館にも紫式部の本がちょっとふえました。大河ドラマ「光る君へ」の主人公が紫式部だから、今わだいの人なのです。そこで、今回は紫式部さんと、彼女がかつやくした〈平安時代(900~1200年ごろ)〉のおはなしをしょうかいします！

紫式部って どんなん？

紫式部さんは、今からおおよそ千年前の九七〇年ごろに生まれたといわれています。ちなみに紫式部という名前は本名ではなく、はたらくときの名前です。ほんとうは藤原の何とかさん。くわしくは不明です。

紫式部さんは『源氏物語』という長い物語を書きました。光源氏という男の人の一生と、その子ども孫のお話です。千年たった今でも読みつけられていて、外国語にも翻訳されています。

ほかに『紫式部日記』や『紫式部集』という和歌集などがあります。

おなじところに、清少納言という人がいました。清少納言さんもほんとうは清原の何とかさんといわれています。

『枕草子』というエッセイのような文章を書いて、紫式部さんとおなじくらい有名です。



左：『紫式部日記 平安女子のひみつのダイアリー』（紫式部/作、福田裕子/著 KADOKAWA）▲
右：『コミック版日本の歴史88 平安人物伝 紫式部』（後藤ひろみ/原作、瀧玲子/作画 ポプラ社）

平安時代の人って、どんなふうにくらしていたの？

千年前の人のからしを教えてください。本です。変わっているところはもちろんあるけど、実はそんなに変わってないところも…？千年前だってあま〜いおかしはあったんです！



『平安女子の楽しい!生活』『平安男子の元気な!生活』▲（前川佳代、宍戸香美/著 かもがわ出版）
『古典がおいしい! 平安時代のスイーツ』▲（川村裕子/著 岩波書店）

竹から生まれた「かぐやひめ」。そのひめもおじいさんもおばあさんもみかども、み〜んなかえるになっちゃった！ユニークな『竹取物語』のえほんです。



『かえるの竹取ものがたり』（依万智/文、斎藤隆夫/絵 福音館書店）▲

清少納言さんの『枕草子』で1ばんゆうめいな「春はあけぼの」からはじまる章段。たのしいえといっしょに、こえにだしてよんでみよう！



『声にだすことばえほん 春はあけぼの』▲（清少納言/文、たんじあきこ/絵、齋藤孝/編 ほるぷ出版）

おひめさまって花やちょうとかきれいなものが好きなのかな…？いえいえ、このおはなしに出てくるおひめさまは虫が大好き！かわってる…？



『虫めづる姫ごみ』（森山京/文、村上豊/絵 ポプラ社）▲

こんな人もいた！陰陽師「安倍晴明」

陰陽師（「おんようじ」とも）というのは平安時代の公務員。星をみたり、占いをしたり、曆（カレンダー）をつくったり。ほかにも不思議な術を使ったそう。陰陽師の中でも有名なのが安倍晴明。京都には晴明神社というのがあります。この絵本の作者夢枕獏さんは安倍晴明の小説も書いています。その小説を岡野玲子さんがマンガにしていますので、もっと知りたい！と思った人はぜひ手に取ってみてください。



『おんみょうじ 鬼のおっぺけぼ』（夢枕獏/作、大島妙子/絵 講談社）▲

今年もやります！まなびあんえほん大賞

2022年の冬におこなった「まなびあんえほん大賞」。大好評につき今年もやります！まなびあんなンパーワンえほんはどれだ！みなさんの投票まっています♪（投票できるのは、3月19日（火）から約1か月間です。）



『まなびあんえほん大賞 2022』第1位 ▶
『パンどろぼう』（柴田ケイコ/著 KADOKAWA）

お知らせ

〈あいている時間〉
午前9時～午後7時

〈おやすみの日〉
毎週月曜日

月のさいごの日(2/29、3/31、4/30)
蔵書点検期間(3/12～3/17)の1週間

3月は「蔵書点検(ぞうしょてんけん)」といって、図書館をしめて、ぜんぶの本があるかないかしらべるんだよ！だから1週間おやすみになるよ、きをつけてね♪

西予市図書交流館
まなびあん

☎ 0894-62-6420